



戦争が巨木を伐った 太平洋戦争と供木運動・木造船

瀬田 勝哉 著 平凡社選書 236
 出版年月 2021/01
 ISBN 9784582842364
 Cコード・NDCコード 0021 NDC 210.75
 判型・ページ数 四六判 528ページ

本体：~~3,800円~~＋税**特別価格 3,344円(送料込)**

ガダルカナルの敗戦が決定的になった1943(昭和18)年2月、日本政府は全国で「軍需造船供木運動」を開始する。急速に進む鉄の不足を補い、木が戦争資材として浮上する。政府は鋼船に代え木造船を緊急増産するため、山林だけでなく平地の巨木・大木にも目をつけた。一斉に屋敷林・社寺林・並木・公園・海岸林の木々の伐採供出運動が展開される。一方国内や東南アジア各地では木造船工場が新設され、規格化・簡略化された「戦時標準型木造船」の大量生産が始まる。何十年、何百年、人々の暮らしと共にあった身近な木はこうして船になったが、果たしてどれだけ役に立ったか？—知られざる戦時の木の総動員体制と木造船建造計画。日本における樹木と人の関係史上まれに見る危機的局面を、中世史家がはじめて明るみに出す、前人未踏の歴史分野の開拓。

目次

はじめに —それは一学生の卒業論文から始まった—

第Ⅰ部 供木・献木

- 第一章 太平洋戦争と「軍需造船供木運動」
 - 1 紀元節を期して— 1943(昭和18)年2月11日—
 - 2 木造船のための挙国協力体制をつくれ
 - 3 軍需造船供木運動始まる
 - 4 供木運動の仕組み
- 第二章 供木・献木「魁」の大ケヤキ
 - 1 記念の遺物
 - 2 残っていた写真・書類・図面
 - 3 供木美談の拡散
- 第三章 「率先垂範」する天皇・大社寺
 - 1 戦う御料林 —天皇—
 - 2 不動様の御船は沈まない —成田山新勝寺—
- 第四章 「巨木挙つてお召しに応じよう」
 - 1 神木応召 —岡山県真庭郡・木山神社—
 - 2 応召する松並木 —岡山県津山市・二宮松原—
 - 3 翼壮特派員報告 —岡山県吉備郡・新本村—
 - 4 相次ぐ全国からの報告
- 第五章 軍需造船供木運動の全国的動向
 - 1 供木運動・開始直前
 - 2 全国道府県別供木・献木数の比較
 - 3 栃木県の場合 —知事以下一丸となって—
 - 4 富山県の場合 —全国第一位はどうして達成できたか—
- 第六章 官製「国民運動」の理想と現実
 - 1 国民の愛国心に訴える
 - 2 先頭に立つ大日本翼賛壮年団(翼壮)
 - 3 翼壮前史 —多様性を認める「壮年団」の歩み—
 - 4 翼壮は供木運動にこう取り組んだ
 - 5 鬱積する不公平感・不信感
- 第七章 メディア・文化人の動員
 - 1 文字・ことばに訴える
 - 2 視覚に訴える
 - 3 「供木よ、安んじて征け」—造園博士・上原敬二の叫び—

第Ⅱ部 木船

- 第八章 木船に賭ける日本
 - 1 急に注目され始めた木船
 - 2 なぜ「計画造船」か
 - 3 「計画造船」と「木船海運」を推進する国家的仕組み
 - 4 大量に残っていた極秘資料
- 第九章 木船造船所の数と分布
 - 1 国内造船所の整理統合
 - 2 大工場としての新設造船所
 - 3 外地の木船造船所
- 第十章 木船造船所の視察と業界の提言
 - 1 厳しい視察団報告書
 - 2 業界からの注文と提言
 - 3 報告・意見は改善に活かされたか
- 第十一章 漫画家の『僕の木船見学』を読む
 - 1 漫画家登場
 - 2 絵と文で綴る「木船が出来るまで」
 - 3 匿名の造船所を追って
- 第十二章 木船は活躍できたか
 - 1 ガダルカナル戦以後の木船建造
 - 2 期待される木船の活動場所と活動内容
 - 3 南方を目指す計画とその結末
 - 4 木船計画はどこまで実現できたか
 - 5 終戦1年後の総括

第Ⅲ部 木の終戦

- 第十三章 伐採された木の行方
 - 1 戦標船はどうなったか
 - 2 木船にならなかった木はどこへ
- 第十四章 伐採を免れた巨木・大木
 - 1 現地の日光杉並木論争
 - 2 独りで守り抜いた箱根杉並木
 - 3 様々なケース

おわりに —「木の事件史」を記憶する—

あとがき

参考文献・資料一覧

A+B 全国木船造船所一覧表

B' 全国木船造船所別・組合別 建造命令数量一覧表

全く知られていない太平洋戦争中の「木」と「木造船」の歴史です。国内の平地の大木・巨木が一斉に伐られ、木造船になっていきました。日本の平地の景観はこの時点で大きく変わってしまったのです。しかしこんなことを調べた人はなく、知る人も殆ど亡くなってしまいました。今がこの史実を調べて書き残す最後のチャンスと思い、私は専門の中世史研究を中断して6年間このことに集中しました。北海道から沖縄まで広く津々浦々まで及んだこの出来事をできるだけ多くの方に知っていただき、ご自分の周りでもまだ残っている記憶や記録をぜひ調べていただきたいと思うのです。長いのですが、ご一読よろしく願いいたします。

瀬田勝哉

予約の申し込み方法

○下記まで必要事項を添えてお申し込みください

1. 申し込みの必要事項
(1) 申込者氏名、(2) 郵便番号、(3) 送付先住所、(4) 昼間連絡がつく電話番号(携帯可)、(5) 冊数
2. 本に請求書・振込用紙が同封されるので、到着後、なるべくお早めにお手続きください。

○予約販売受付 2021年1月19日(火)まで

連絡先 電子メール: setazemi2019@gmail.com

FAX : 047-318-5008 (送れない時は非通知設定の解除をお願いします)

郵便: 〒272-0822 千葉県市川市宮久保1-21-24 オフィスMAL 気付

担当: 毛塚万里(瀬田ゼミOBOG会世話人代表/日本アーカイブズ学会登録アーキビスト)

お届け
予定

1月5日までのお申し込みは発売日(1月20日)から1週間ほど

1月17日までのお申し込みは発売日から2週間以内

1月18日以降のお申し込みは発売日から2週間くらい

◎発売日1月20日以後は直接編集担当者までお申し込みください

連絡先 電子メール: hoshinatakao@outlook.jp 担当: 保科孝夫

- * 今回は発売日以後も、著者の希望で特別価格での販売を行います。必ず「著者の紹介です」の文言を明記して直接お申し込みください。